

がくほくしょうち

広報No.99

令和元年10月発行

水害

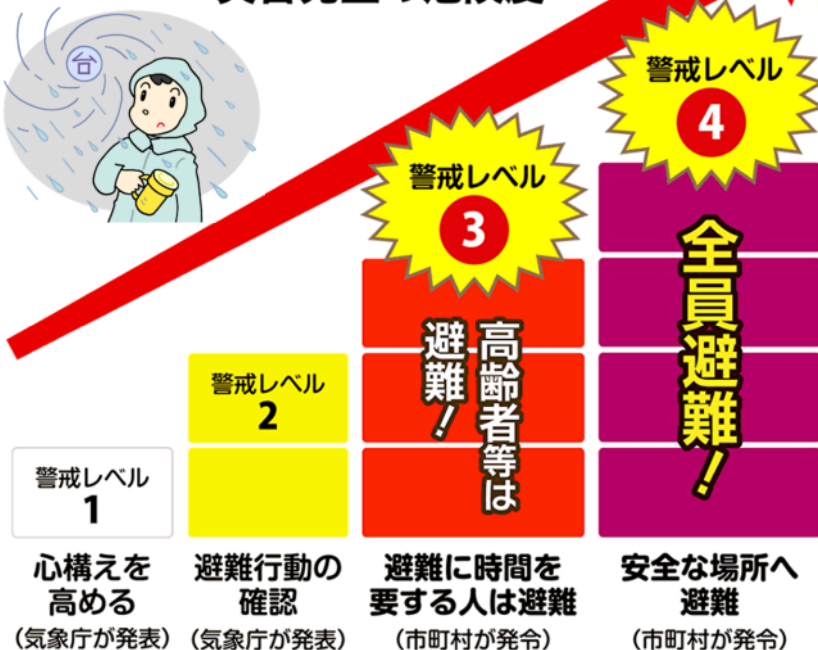
自然災害特集！

岳北管内においても、過去に浸水害、土砂災害、大地震により、甚大な被害が発生しています。
自然災害は早めの準備、早めの避難を心がけましょう。

土砂災害

こんなときにはすぐ避難！

災害発生の危険度



警戒レベルを用いた防災情報とは？

災害発生の危険度と、とるべき避難行動を、住民が直感的に理解するための情報です。

どの警戒レベルが出たら、

どう行動すればいいの？

「警戒レベル3」で高齢者等は避難

「警戒レベル4」で全員避難

「警戒レベル5」は、「命を守るための最善の行動を」

避難情報はどのように伝えられるの？

テレビやラジオ、インターネット、防災行政無線からの情報に耳をかたむけ、早め早めの避難をしましょう。

【警戒レベル5】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

(※政府広報オンラインより)



大自然の脅威に備えよう!



近年、全国各地で自然災害が多発しています。梅雨前線の活動や台風の接近、上陸等による豪雨被害、土砂災害、火山噴火、震度6強以上の大地震など、平成のあいだだけでも死者、行方不明者の数はおよそ3万人にのぼります。

今からできる備えのチェックポイント!

- 雨戸、屋根、アンテナの補強、固定
- 食料、飲料水の備蓄（最低3日分）
- 生活用品の備蓄（ちり紙、ライト、電池等）
- 常備薬、めがね、コンタクト等の身の回り品
- 家族同士の安否確認方法の確認
- 避難する場所やルートの確認



国土交通省が運営するウェブサイトで、あなたの住む地域のさまざまなハザードマップがご覧になれます。（洪水、土砂災害、津波、道路防災情報等）

サイト内から各市村ホームページ内のハザードマップを参照できます。

★ハザードマップポータルサイト URL: <https://disaportal.gsi.go.jp/>



岳北消防本部・飯山消防署の自然災害への備え

岳北消防本部では、自然災害への備えとして様々な取り組みを進めています。平成26年に移転した新庁舎は、建築基準法で定められた1.5倍の耐震性能を有するほか、非常用電源設備を設置しており、災害発生後に消防本部機能を維持しつつ迅速に対応することが可能です。

このほか、自然災害を想定した訓練を適宜実施し、洪水の発生が予測される場合には、飯山消防署の消防車両を標高の高い飯山市長峰運動公園と木島平村ケヤキの森公園に移動させ、災害出動に備えるよう、水害対策計画を定めています。

（水害対策計画は消防署ホームページ『案内・広告ページ』に掲載しています。）

問い合わせ先 岳北消防本部 飯山消防署
☎62-0119

岳北消防本部

🔍 検索

